

登録有形文化財

建造物 石浜神社本殿

所有者 石浜神社 (南千住3丁目)



平安神宮・築地本願寺等の著名な近代建築を手掛けた建築史家・建築家の伊東忠太氏による設計で、昭和12年(1937年)に造られました。屋根は銅板葺で、神明造の建物です。現在は、背面・両側面に下屋を付設し、新造した幣殿と一体化させています。

石浜神社は、二度の移転を経て、現在の場所に位置しています。

登録無形文化財

工芸技術 指物

保持者 井上健志さん (東日暮里4丁目)



祖父・猪治氏(元区指定無形文化財保持者)、父・喜夫氏(区指定無形文化財保持者)に続く三代目の指物師です。喜夫氏に師事して指物の技術を修得しました。桑、献保梨、榎、黄蘗、桐等の木材で、鏡台・棚・文机・引出箱等の木製家具や歌舞伎役者が使う楽屋鏡台を、製作・修理します。



▶回転鏡

長い歴史の中で生まれはぐくまれ守り伝えられてきた

あらかわの文化財

区では、荒川区文化財保護条例に基づいて、区内の貴重な文化財を保護・継承するために、指定・登録をしています。

今号は、令和3年度に指定・登録をした文化財等を紹介します。

問合せ 荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234

指定有形文化財

歴史資料 彰義隊関係追弔碑群

所有者 円通寺 (南千住1丁目)



▲彰義隊戦死者墓

主に旧幕臣によって建立された墓碑を含む、彰義隊・旧幕臣関係の39基の石造物群です。慶応4年(1868年)の上野戦争直後に、当時の円通寺住職・武田仏磨が、戦場に放置された彰義隊士の遺体を火葬し、遺骨を円通寺に持ち帰って供養した際に、彰義隊戦死者墓を建立しました。以来、彰義隊供養の拠点となり、明治・大正時代まで石造物の建立が続きました。

指定無形文化財

工芸技術 鍛金

保持者 福士豊二さん (東日暮里4丁目)



東京銀器の祖・平田禅之丞の流れをくむ叔父・奈良勇三氏から技術を修得しました。また、人間国宝・奥山峰石氏の指導を受け、器物等の形成・打込象嵌の技術を修業しました。主に銀製品を扱い、花器・湯沸等の器物のほか、飾り扇やプロスポーツの優勝カップ・トロフィー等を製作します。



▶純銀製飾り扇子



▶花器「打込象嵌寿文様花瓶」

2面で、文化財に関連するイベントを紹介します

あらかわ遊園

5月9日(月)以降は(土)・(日)のみ予約が必要です

問合せ あらかわ遊園 ☎(3893)6003

予約方法等の詳細は、荒川区ホームページ(右の二次元コード)等をご覧ください。インターネット環境がない方は、事前予約専用番号☎(3893)6530に連絡して予約してください。 ※月~(金)は、予約の必要はありません

